



る う て る



2018年
4月
No.844

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教 「赦され生かされて、生きる」

日本福音ルーテル教会 牧師 江藤直純

三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなつた。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」・・・このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。(ヨハネによる福音書21章17、19節)

死者の復活、あつてほしいと切に願いつつも、ありえないのがこの世の現実。だから、死を受け入れたくなくても、そうするほかにない。すべての終わりと

して、死、やり残したことがあつても、やり直したいと願つても人生に終止符が打たれる。赤字決算でも変えられない。これが誰もが経験する人間の宿命。

しかし、ゴルゴダの丘の上で苦しみと屈辱の果てに絶命し、墓に葬られたその方を、神は「復活させられた」「高く引き上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになった」と聖書は宣言し

ます。代々の教会は「三日目に死人のうちから復活し」と告白します。誰もが最初は信じられなかった出来事を神は起こされたのです。

この奇想天外な告知が福音である所以は、「キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられ」たから。キリストだけでなく「アダム

ある者も含めすべての人が、キリストの復活のゆえに、復活と新しいいのちに与らせていただくようになるというのです。死の束縛から解放放つ。これこそ福音です。

四つの福音書は、復活は「終わりの時」に完成するけれど、すでに今このときに始まることを語っています。その証人の一人がペトロ。熱血漢で、純朴で、命懸けで主イエスに従っていたのに、あまりにも弱く、無様にも三度否認して裏切り、刑場からも逃げ出すという取り返しつかない過ちを犯した。ペ

となさつた場面です。「ヨハネの子シモン」と親しく呼び掛け、「わたしを愛しているか」と尋ねられます。そうです、その通りです、もちろんご存じでしょう、わたしはあなたを愛しています——ペトロはそう答えます。愛の告白あるいは信仰の告白を三度します。

二人の会話に大変興味深い言葉が用いられています。新共同訳では主イエスの問いは三度とも「愛しているか」であり、ペトロの答えも「愛しています」です。

最新のルター訳ドイツ語聖書でも六つともリベン(愛する)という訳語が採られています。しかし、ギリシャ語原典ではイエスキリストの最初の二回は「アガパオー」という動詞、最後の問いは「フィレオー」で、ペトロの答は三回とも「フィレオー」でした。どちらも「愛する」と訳すことができますが、ここで神の無償の愛アガパと通じる動詞アガパ



と、友愛フィリアにつながるフィレオーは意図的に区別して使われたのでしようか。通説は単なる言い換えと見ますが、岩波訳はフィレオーを「ほれこんでいる」と思い切つて訳しています。そうならば、この会話でイエスキリストは、主が期待されたアガパオーとは違うペトロの愛フィレオーを持つ人間の限界を赦し、受容して下さつたのだと、わたしには思えるのです。

主イエス・キリストはわたしたちの肉体的な弱さも罪も十字架と復活で赦し、未だ不十分さを抱えたままの生を受け容れて、新たに生かしてくださいませ。」「わたしに従いなさい」と招かれます。ここに赦され生かされながら、終末での復活の完成を望みつつ今を生きる新しい信仰者の生き方が可能になります。ペトロは弱さを背負いつつ使徒としての生涯を全うしました。

わたし自身の69年間の人生、42年間の牧師とされる歳月は、弱さと罪にもかかわらず、赦され生かされて生き、及ばずながら神と教会と人々に「ご奉仕させていただく恵みに浴した幸の時でした。十字架と復活は神の愛です。主の力です。ただただ感謝。アーメン

は神様の言葉ですよ」と言いました。授業では寝ていた生徒ですが、居眠りの中でさえ神様は導いてくださつたんですね。この子の核心を突く言葉に、心が震えました。



CASTELLO, Giovanni Battista Christ Giving the Keys to St Peter. 1599. Musée du Louvre, Paris

ある者も含めすべての人が、キリストの復活のゆえに、復活と新しいいのちに与らせていただくようになるというのです。死の束縛から解放放つ。これこそ福音です。

二人の会話に大変興味深い言葉が用いられています。新共同訳では主イエスの問いは三度とも「愛しているか」であり、ペトロの答えも「愛しています」です。

最新のルター訳ドイツ語聖書でも六つともリベン(愛する)という訳語が採られています。しかし、ギリシャ語原典ではイエスキリストの最初の二回は「アガパオー」という動詞、最後の問いは「フィレオー」で、ペトロの答は三回とも「フィレオー」でした。どちらも「愛する」と訳すことができますが、ここで神の無償の愛アガパと通じる動詞アガパ

わたし自身の69年間の人生、42年間の牧師とされる歳月は、弱さと罪にもかかわらず、赦され生かされて生き、及ばずながら神と教会と人々に「ご奉仕させていただく恵みに浴した幸の時でした。十字架と復活は神の愛です。主の力です。ただただ感謝。アーメン

は神様の言葉ですよ」と言いました。授業では寝ていた生徒ですが、居眠りの中でさえ神様は導いてくださつたんですね。この子の核心を突く言葉に、心が震えました。



果たしてわたしたちはお守りのように、神様の言葉をいつも携えているのでしょうか。日々の慌ただしさの中で、言葉の存在さえ薄れ、言葉の光で照らし励ましてくださる神様を忘れていた時さえあるのです。またこの光は時に眩し過ぎず、わたしたちは目が開けられないままに歩み、路頭に迷ってしまうのかもしれない。

ある日、受験を控えた高校3年生の生徒2人が祈つて欲しいと聖書科研究室にやってきました。お祈りした後「先生、キリスト教のお守りが欲しいです」と言われ、「キリスト教にお守りはないんだよね」と返すと、もう1人の生徒が「お守りが無いから、祈つてもらいに来たんじゃないか。先生、キリスト教のお守り

共々に祈った彼らもこの春、晴れて大学生。新しい道の途上で復活の主に出会うことができますように。

日本福音ルーテル教会 総会のお知らせ

(1) 第28回定期総会 (教会総会)
日時: 2018年5月2日(水) 15時
開会礼拝~5月4日(金) 13時
主な議案:
①諸報告
②選挙
③礼拝式文改定の件
④海外宣教に関する件
⑤決算、予算の件

(2) 全国教師会総会 (こちらが先です)
日時: 2018年5月1日(火) 14時
受付~2日(水) 12時
主な議案:
①教師会活動、会計報告他
②選挙
③その他の事項

会場はいつでも、日本福音ルーテル教会宣教百年記念東京会堂(東京教会)



議長室から

イエスを復活させたため、イエスの出来事、十字架の出来事、復活に思いを向けることはなかつたのです。

どこに理由があるのか詳しく調べたことはありませんが、死からの甦りという使信があまりにも荒唐

た絵として、フランス人画家のルオーの描いた「聖書の風景」に目が留まりました。エマオの途上の出来事です。道行く人と一緒に歩むことになった2人の弟子は、その方が復活されたイエスであることを知らず、エマオという村へと向かう

途上の旅

総会議長 立山忠浩

主の復活を祝うイエスターを迎えました。先日、絵画集を眺めた時、イエスターを主題にした絵が少ないことに気づきました。クリスマスや十字架を題材にしたものに比べると明らかに少ないのです。音楽もきつと同じでしょう。さらに広げれば、文学もそうです。例えば、芥川龍之介が自死の直前まで

無稽に思えるからではないかと私には思われます。使徒言行録(17・32)のアテネの人々が、パウロの話が死者の復活に及んだ途端にあざ笑ひ、耳を閉じてしまったことを想起します。

珍しく復活を主題にした絵として、フランス人画家のルオーの描いた「聖書の風景」に目が留まりました。エマオの途上の出来事です。道行く人と一緒に歩むことになった2人の弟子は、その方が復活されたイエスであることを知らず、エマオという村へと向かう

の出来事は実に荒唐無稽だったことが分かります。しかしエマオの途上の道中、見知らぬ姿のイエスと共に歩むことで少しずつ変化して行つたのです。聖書の読み明かしをイエスから聞くことによつて、彼らは心を燃やされ、夕食の時

「途上」と言うことができずからです。「わたしたちの本国は天にあり」(フィリピ3・20)とパウロが言うように、この世に生きる私たちの誰かがいま、本国への途上にあるのです。その途上の歩みはエマオの弟子たちと同じように、主イエスとの旅なのです。イエスの姿は見えなくても、信仰の仲間の語る聖書の説き明かしは、信仰を燃やし、宣教へと奮い立たせるイエスの声と信じるのです。

4月には年度替わり、新しい歩みの始まる時です。皆さんの歩みに神様の祝福をお祈りいたします。

全国ディアコニア・ネットワーク 第16回「環境・人権・平和名古屋セミナー」に参加して

開会礼拝、小泉嗣牧師(千葉教区の「隣人を愛する」という聖書の土台と憲法という国の土台を学び、日本におけるキリスト者として何をなすべきなのかを考えた)という核心をどう考えた言葉から、セミナーが始まった。前半は、愛知大学法学部教授の長峯信彦さん(名古屋めぐみ教会)による憲法の講義。憲法は「神の目から見てどんな人間も平等に個人として尊重される」というキリスト者の感覚のものであるという人権論の本質、憲法は人の心を必要とする血の通った学問であるというところ、そして9条をめぐる現在の

日本及び国際情勢が語られた。後半は、講師の長峯さんの体調のご都合で予定を変更し、まず、検校教会の内藤新吾牧師から、原発問題の現況についてお話をいただいた。その後、弁護士の内河恵三さん(なごや希望教会)、小泉牧師、内藤牧師による「教会が社会にどのように関わっていくか」というパネルディスカッションになった。「教会の地域社会での役割・存在価値が必要になつていく」「教会として社会問題や平和問題を考えたい」「教会が必要なのは社会問題を論じてほしくない」という雰囲気もあ

る。「教会単位でなく個人として活動すればよく、その人々が一致して力を合わせていけば強い」「世の光」だけでなく「地の塩」の働きを、率直かつ活発な意見交換がされた。

私にとつては課題へのヒントを多に得られ、社会に仕え活動するキリスト者が教会の単位を超えてつながるディアコニア・ネットワークの活動の意義を強く実感する有意義なセミナーとなった。



ト者の自由」が活版印刷により流布しました。

カトリックと宗教改革500年⑥

宗教改革小史(2)

3. ルターの宗教改革
ルターは、人間の外面的なわざではなく、キリストの贖罪のわざに示された神の恵みとあわれみを全面的に受けとる「信仰のみ」において人は救いにいたるとする「福音主義」を唱えました。この福音主義は、その源泉と正統性を「神の言葉」である「聖書のみに」求めます。そこから教皇の権威や教会の伝承、ローマ教会の既存の組織、教会秩序への改革が訴えられます。



1517年、ヴィッテンベルク大学教授のマルティン・ルターがこの聖堂の扉に「95ヶ条の論議」を掲示したことが宗教改革の口火を切ることになりました。

ヨーロッパ各地に拡がっていきました。また、幼児洗礼を否定する再洗礼派(アナバプテスト)の運動もスイスから起こりました。さらにイギリスでは英国国教会(アングリカン)が成立しました。



ジャン・カルヴァン(1509-1564)は、ジュネーブ市の宗教改革を強力に指導しました。改革派教会・長老主義教会を方向づけ、大きな影響を与えました。



1521年にヴォルムスで神聖ローマ帝国会議が開かれ、ルターは追放が決定されました。ルターは自説をまげず、教皇と公会議の権威を認めないことを明言し、最後に「ここにわたしは立つ」と言ったことごとです。



カトリック教会内でも改革が進んでいました。イグナチオ・ロヨラ(1491-1556年)が創立したイエズス会の活動はその一例です。

こうした変革は、ドイツに大きな混乱をもたらしました。しかしルターの呼びかけはローマ当局と司教たちには聞き入れられず、教会と結ばれて政治的権威を代表する神聖ローマ皇帝カール5世は、1521年にヴォルムス勅令を発してルターを異端と断定し、追放しました。

4. 宗教改革の拡大
ドイツにおけるルターの改革運動に並行して、スイスでは、ツヴィングリやカルヴァンがジュネーブを中心に改革運動を進めました。それは、オランダ、イギリス(清教徒ヘブユリタン)、スコットランド(長老派(プレスビテリアン)、フランス(ユグノー)など、

カトリック教会は、日本のカトリック教会の皆さんに宗教改革500年共同記念の意義を知らせるため、リーフレット「カトリックと宗教改革500年」(発行:カトリック中央協議会、制作:宗教改革500年記念行事準備委員会)を作成しました。編集責任を負われた光延一郎神父(イエズス会、上智大学教授)よりご提供いただき、紹介します。

ルーテルアワー
biblestudy.jp

「ルーテルアワー」のサイト
【あなたの部屋】より

伊藤早奈

いつも一緒

ヨハネ21・1〜14

谷折りノ神様。私たちは「今年」の4月は〇〇だ」と前年と比べてみたり、自分の記憶にあるかつて4月と比べてみたり。小学校や中学校の入学式であったり、就職したときであったり、様々な春の思い出がよみがえってきます。それらが映像として残って

いたり、香りや音で残っていたりと、心に残るそれぞれの4月は一人一人違います。その一人一人のかけがえのない瞬間に神様あなたに共に祈り、一人一人の心に寄り添ってください。あなたと共にいる今を私たちは勇気を持って精一杯生きることができそうですよ。この祈りをイエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

あなたはこれまでに何度イエス様と出会いましたか？

ヨハネ福音書21・14では「イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに

現れたのは、これでもう三度目である」と語られています。

「へえ、三度もイエス様と出会ったのか」と思われる方も「三度しかまだお会いできないのか」と思われる方もあり、お一人お一人の反応はいろいろあると思います。それら二つが全て大切な反応であり、神様にとって尊いものです。しかし、イエス様とのいろいろな出合いや回数で語られるイエス様との出合いは私たちの側からのことです。

ペトロは漁師としての日常の生活に飛び込みます。そこにもイエス様は立っておられます。イエス様は日常の中にあってもあなたと共にいられます。

けれど、長いのです。

カンボジアワークキャンプ 大きなものを与えられ



廣瀬知登 (大江教会)

カンボジアのワークキャンプに参加していろいろなことを経験でき、多くの人と出会う中でも自分

自身は大きな勘違いをしていました。自分が与える側だと思い込んでいた私は子どもたちに対して何も与えられず、とても自分が無力だと感じました。子どもたちの笑顔から学ばせてもらったのに、何も返せない自分がとても無



を成長させてもらったと感じています。現地へ行く前にはワークをしてカンボジアの人の役に立てれば良いと思っていました。しかし、子どもたちと遊んだり、カンボジアでいろい

る人たちに会ったりしていく中でその考えは少しずつ変わっていきました。カンボジアは日本より発展してないから、不自由で窮屈な生活をしていると思っていました。しかし、子どもたちと遊んでいるときに、子どもたちの笑顔を見ているとこの子たちは希望にあふれていると感じました。

力に感じ、もつと勉強し経験を積み、またこの地に来たいと思いました。また、同じ年代のクリスチャンの青年と交流を持てたことはとてもいい経験でした。国も違うし言葉も

ンプ中には多くの困難にぶつかりましたが、いつも杉本牧師の言葉に支えられ、また、一緒に行ったキャンパーのみんなに支えられて困難を乗り越えていきました。

第27回総会期 第6回常議員会報告

事務局局長 白川道生

2012年策定の「第六次総合方策」の6年目、期中3度目となる全国総会を5月に控えた、第27回総会期の第6回常議員会でした。年間予定では2月20日から22日にかけて日程が組まれていましたが、この期間中に、人事委員会を開催することになったため、変則的な3日間の会議となりました。しかしながら、審議

と決定を必要とする事項はすべて決議されました。主な事項を以下に記します。

▼諸報告の承認

立山総会議長の議長報告をはじめ、教区長報告並びに室長報告を含む役員報告、これに諸委員

ら出願があり、「教師試験」並びに「任用試験」が実施され、全員が合格となりました。本年は4名の教職が定年退職を迎えましたが、いわゆる教職大量引退期に入っている認識をもっています。

一方で、神学校の学生数が減っている現状と合わせて、宣教態勢をいかに組んでゆくのかが、課題協議がなされました。

年度人事提案が常議員会で承認されました。これにより新年度の教会任命教師は、現職74名と出向・海外関係10名となり、ここに牧会委嘱・宣教師が加わる新年度の宣教態勢が定まりました。加えて、前任者の帰国に伴う宣教師の派遣決定も本年の特別事項です。人事内容は別項に記しましたので、ご確認ください。

にも、常議員会を夕方までいちど終えて、引き続き「人事委員会」を間に挟んで開催する変則形態になりました。その影響で決議を必要とする事項が若干残ったため、常議員会終了後に「事務処理委員会」を開催して、とりわけ全国総会に係る事務的な事務柄について審議し決定をしました。ここで決定した総会に関するお知らせは順次、全国の教会にお届けをはじめいたします。

ルuteru教会の主日礼拝に参加させてもらった際に、20人を超える人が洗礼を受ける姿を見ました。言葉も通じないし、日本から遠く離れている地であっても、こうして神様を信じる家族が増える瞬間に立ち会えたことは本当にうれしかったです。

夜に分かち合いで成長させてもらいました。杉本牧師の話にはとても支えられました。ワークキャ

※4月14〜24日に日本福音ルーテル社団のカンボジア・ワークキャンプチャレン。杉本洋一牧師が開催されました。

る、重要な位置づけである点は一貫して変わっていません。

▼人事と教職態勢 教職任用を望む3人から出願があり、「教師試験」並びに「任用試験」が実施され、全員が合格となりました。本年は4名の教職が定年退職を迎えましたが、いわゆる教職大量引退期に入っている認識をもっています。

一方で、神学校の学生数が減っている現状と合わせて、宣教態勢をいかに組んでゆくのかが、課題協議がなされました。

▼決算と予算の審議・承認、教会土地建物の改築申請 2017年度収支決算報告と2018年度予算協議では、各個教会の財政力の減少が進み、更に

なお常議員会の詳細は、教会宛に送付される議事録をお読みください。

本牧師の話にはとても支えられました。ワークキャ



左 広瀬さん



新任牧師 挨拶

多田 哲(たださとし)



主に感謝します。今年度新しく

日本福音ルーテル教会の牧師になりました多田哲です。西教区・豊中教会

出身で、4月1日から神奈川県横浜市の日吉教会へ派遣されることになりました。

私は大阪府吹田市で生まれ、大学時代にKGG(キリスト者学生会)の聖書研究会を通して教会に

通い始め、2004年のクリスマスに近畿福音ルーテル西教区で受洗。3年後、日本福音ルーテル教会へ転籍しました。大学院では歴史言語学を専攻し、後期博士課程まで



4月からは日本福音ルーテル長野教会と松本

これまでもずっと学生で社会に出たことのない未熟者ですが、福音宣教のため、みなさんと一緒に歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

これからますますと学生で神学校へと導かれることとなり、その道のりの中で、多くの方々から愛をもち育てられ、支えられてこまごま来られましたことを感謝いたします。

2教会の兼牧という働きを与えられました。両教会では主日の礼拝を共に守るために様々な試みをしていきます。私も皆様によりいつぞう恵み深く神さまの恵みに与れるよう、新しい試みも取り入れつつ、精一杯賜物を生かして仕えて参りたいと思います。日本福音ルーテル教会の皆さまに神さまの祝福と恵みとがありますように、お祈りいたします。

森田哲史(もりたさとし) 日本福音ルーテル新霊山教会

この度日本福音ルーテル教会の牧師として任用されました。

森田哲史と申します。4月1日より、新霊山教会に派遣されることとなりました。教会の皆さまと福音を分かち合う恵みを嬉しく思います。また、教会だけではなく、社会福祉法人デンマーク牧場福祉会のチャプレンとしての責任も与えられました。特別養護老人ホームや児童養護施設など、教会と社会を繋ぐ最前線の現場を通して福音を広く宣べ伝えることが出来るよう主に任せていきたいと思えます。社会福祉の分野につきましては未知の領域ですが、また学校に入り直した気持ちで、一から勉強させていただきます。これからも皆さまのお祈りとお支えを賜る事が出来れば幸いです。

日本福音ルーテル教会人事(2018年度)

○退職(2018年3月31日付)

- ・青田 勇(定年)
- ・江藤直純(定年)
- ・齊藤忠碩(定年)
- ・谷川卓三(定年)

○新任

- ・多田 哲
- ・野口和音
- ・森田哲史

○人事異動(2018年4月1日付)

【北海道特別教区】

- ・日笠山吉之 恵み野教会(協力牧師・兼任)
- ・中島和喜 恵み野教会(主任)
- ・札幌教会(協力牧師・兼任)

【東教区】

- ・市原悠史 横浜教会(主任)
- ・横須賀教会(主任)

【南海教区】

- ・河田 優 三鷹教会(主任・兼務) ※5月30日まで
- ・野口勝彦 みのり教会(主任)

【西教区】

- ・高村敏浩 三鷹教会(主任) ※6月1日付
- ・多田 哲 日吉教会(主任)
- ・野口和音 長野教会(主任)
- ・松岡俊一郎 甲府教会(主任・兼任)
- ・諏訪教会(主任・兼任)
- ・三浦知夫 東京池袋教会(主任)
- ・李 明生 田園調布教会(主任)
- ・市原悠史 横浜教会(主任)
- ・渡辺高伸 津田沼教会(主任)

【九州教区】

- ・白川道生 唐津教会(主任)
- ・小島教会(主任)
- ・佐賀教会(主任) ※6月1日付

【出向】

- ・宮本 新 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
- 待機
- ・山田浩己
- 復職
- ・後藤由起 ※一般から嘱託への任用変更/東教区付

【LEAF信徒宣教師(特別契約)】

- ・ポール・フォーサイス 本郷学生センター(4月1日)
- 【LEAF信徒宣教師】
- ・ミリアム・ハリユウ 東教区付/市ヶ谷教会(4月1日任地変更)
- 【J3宣教師プログラム】
- ・ブレント・ウィルキンソン ルーテル学院中学・高校(3月31日退任)
- ・スコット・カルズニー ルーテル学院中学・高校(4月1日新任)

○その他

- ▽教会委嘱(2018年4月1日付/1年間)
- ・明比輝代彦 掛川・菊川教会
- ・乾 和雄 神戸東教会
- ・北尾一郎 甲府教会
- ・齊藤忠碩 復活教会
- ・渡邊 進 沼津教会
- ・藤井邦夫 宇部教会
- ・谷川卓三 松山教会
- ・白髭 義 甘木教会

以上

教職授任按手式2018

当教会の教師試験と任用試験に合格した多田哲さん、野口和音さん、森田哲史さん3名への教職授任式が、3月4日に当教会宣教百年記念東京会堂(東京教会)にて行われました。主司式は岡田薫北海道特別教区長が担当し、按手には立山忠浩総会議長を始め、副議長、各教区長、全国教師会長、宣教師代表が加わりました。

礼拝説教において立山議長は、日曜日の夜に行われる按手式をイースターの夕方に弟子たちが集まっているところにイエスが姿を現されたことになぞらえて、牧師は平和のために派遣されること、そのためにイエスが自身によって「聖霊を受けなさい」と聖霊を授けられると新任牧師への励ましを語り、祝福を祈りました。

3名はそれぞれのご家族、ご友人、出身教会をはじめ研修などで特にお世話になった教会、そして神学校の関係者など、これまで祈り続けてくださった多くのの方に押し出されるようにして、十字架の前にひざまずき、「主の恵みと助けによって聖なる職務を果たすことを約束します」との誓約へ導かれました。そして、職務のしるしとして、任地(別記の通り)の教区長よりその肩にストーリーを授けられました。

東日本震災の発生から7年となる3月11日。東京教会と会場として標記礼拝が行われました。

震災後ボランティア活動を続けている聖望学園高等学校の方々より、現地のこれまでも今について、そして被災者とひとくくりにせず、そこで暮らすお一人おひとりとのつながりを持ち続けることについてお話を伺いました。礼拝では元ルーテル教会救援派遣牧師であった野口勝彦牧師により創世記9章のみ言葉が分かち合われ、共に黙想し祈りを合わせました。

公告

この度、左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき全員対象します。

- 2018年3月15日
- 宗教法人 日本福音ルーテル教会
- 代表役員 立山忠浩
- 信徒利害関係人 各位

- 東京教会幼稚園跡地売却所在地
- 新宿区大久保1丁目
- 所有者 日本福音ルーテル教会
- 地番 216番3
- 地目 宅地
- 地積 310.41㎡

理由 宣教百年記念会堂建築資金回収のため